

## 親知らずの秘密

### 抜くべきか抜かざるべきか…



親知らずというと「いつかは抜かなきゃ…」なんて思っている方もいらっしゃるのでは？

親知らずは「抜いた方がいい」場合がほとんどですが、「残すことによるメリット」もあります！

### こんな時は、抜いた方が良い場合

むし歯や歯周病になっている



親知らずは奥の方にあって清掃しにくいいため、むし歯や歯周病になりやすい歯です。治療をしても、ケアが行き届かずに再発することが多く、歯周病は周囲にも広がっていくので、結局、早期に抜いてしまうこともあります。またケアが行き届きづらいと隣の歯もむし歯になるリスクが高くなります。

智歯周囲炎ちししゅういんで繰り返し痛む



智歯（ちし）とは親知らずのことです。智歯歯周炎は親知らずの周辺が細菌に感染し、出血する、腫れる、膿がたまるなどして、痛みを伴う病気。これが繰り返されると、やがては隣の歯や顎にまで感染が広がる・口が開かなくなるといった症状を引き起こすので、抜歯が必要になります。

矯正治療をしている



親知らずがあるために歯を移動させることが難しかったり、矯正治療後も親知らずに押されることで、前方の歯並びが再び悪くなってしまうことがあります。こうした場合は年齢や状態などを考慮して、早期に親知らずを抜くことがあります。

**抜かなくてもいい&残すことのメリットもあります！**

親知らずはまっすぐに生えてしっかりと噛み合っているのでしたら、有効に働いている歯なので無理に抜く必要はありません。また、将来的に隣の歯が抜けてしまった場合に、ブリッジの土台や入れ歯を安定させるのに役立つ場合もあります。

**親知らずを抜くかどうかの判断基準は、これ以外にも沢山あります。**

いずれにせよ、周囲の健康な歯への影響が心配ですので、「あれ、おかしいな」と思ったら、なるべく早く私たちにご相談ください。